

みんなの幸せづくりを進める研究会〔ボヌール会議〕の進め方

☆ 通称:ボヌール会議 “幸せ”はフランス語でボヌール(bonheur) [bon(良い)+ heur(時間)]

地域のみなさんにとって、生活する地域で“良い時間”を長く過ごすことが幸せにつながる。
そのために社協職員ができることを考え、そして実行するための研究会です。

☆ 地域づくりに必要なこと・進められていること <合いから愛へ、我が事としてつながる>



〔話し愛・語り愛〕 ⇒ 懇談会 =

アウトリーチ =

〔知り愛・解り愛〕 ⇒ 検討会議 =

共有会議 =

〔付き愛・築き愛〕 ⇒ 助け合い活動 =

支え合い活動 =

今、社協が進めている
県内外の取り組み事例

《 実践研究 》

☆ ボヌール会議< 会議への積極参加 ⇒ 住んで幸せな地域をつくる「みんなの幸せ コンシェルジュ」に認定 >

1 課題検討会議

- ・実践事例の確認
- ・オープンミーティングの研究事例を決定
- ・研修内容の検討
- ・研修役割分担

2 オープンミーティング

- ・実践発表 <<活動を知る、理解する>>
- ・質疑応答、活動内容について協議 <<疑問を晴らし理解を深める>>
- ・ワーク <<事業内容・事業推進過程を研究>>
- ⇒ 自身の実施事業への転換を図る

3 メール報告・意見

- ・報告書作成
- ・各社協へ報告
- ・メールにて意見交換
- ・社協間の協働や連携のお誘い

◇ オール社協がそれぞれの段階に参加
CSWスキルを習得し、生活サポート専門職人を目指す県内市町村社協職員を応援する仕組み

◇ 地域福祉を進めるCSWを実践する
社協が創設以来進めてきた地域福祉の中核的な推進者としての責務を果たす